

紫竹ガーデンでできること

おばあちゃんの小さな緑あふれるエデンの園を探索する

このガーデンを作った女性との出会い、朝食、そして庭自体の散策の 3 つを体験することが紫竹ガーデン訪問のハイライトでしょう。この場所は一人の人間の力や情熱、決意を示してくれる場所です。

「紫竹のおばあちゃん」として知られ、90 代の紫竹昭葉は、紫竹ガーデンの創設者でありオーナーです。ゲストの挨拶を楽しんでおり、いつも笑顔で写真撮影に応じています。彼女は時には訪問者を後ろの保育園と菜園の即席ツアーに連れて行きます。

朝食ビュッフェ

午前中は、農場で採れたての野菜、魚料理、肉料理、果物、焼き菓子などの家庭料理がテーブルに広がります。お皿が空になると、すぐに新しいお皿が出てきます。

日々提供されるメニューは、庭で収穫され、近所の人や他の地元の生産者の人々から提供されるものなど、季節の収穫に大きく依存します。日本の伝統的な朝食の料理に限らず、提供される食事には西洋の人々の味覚に馴染みのあるローストやパストリーがあります。バラに似せて、ピンク色のアイスクリームとグリーン色のコーンで作られた、「バラのソフトクリーム」は特別なごちそうです。予約をお勧めします。

お弁当

朝食のビュッフェを逃した人は、朝食で食べきれなかったものも入っているお弁当を購入するのも一手です。多くの人々は、自然にピクニック気分でパティオや庭の他の場所で昼食をとります。ベンチやピクニックテーブルなど、陽ざしの中や日陰で食事をする場所はたくさんあります。

花を集める

もう一つは、来園者は庭園で花を摘むことができるということです。これで、美しい草原で花を集め、花束を家に持って帰るという子供の頃の夢がかなう人もいるでしょう。

紫竹ガーデンを訪れた園芸ファンは、そこで花や他の植物が愛情を込めて手入れされているが、過剰に手間をかけられていないことも観察するでしょう。植物の世話は、北海道の真冬の 5 か月を耐えられるような強い野生の性格を育むことを目的としています。通常は除草と成長の制御に費やされる努力は、代わりに、回復力のある環境を作り出すことに意図的に向けられています。

紫竹ガーデンについて、さらに詳しい情報を得るには、こちらのリンク[\[概要ページへのリンク\]](#)をクリックして下さい。